

# あなたと市議会



「朝の異世界」 横手南中学校美術部 3年 山本 佑<sup>ゆう</sup>さん

## 主な内容

3月定例会ピックアップ… 2	委員会審査報告 …………… 5
新年度予算審査 …………… 6	会派代表質問 …………… 8
一般質問 …………… 9	ぎかいトピックス …………… 14

## 作品のこだわりポイント!

この作品は朝の、のみ込まれる不思議な世界です。のみ込まれていく感じを、明暗とコントラストで表現してみました。魚をいろいろなところに描いているので見つけてみて下さい。



# 予算案に異論続出

## 修正案1件可決、3件否決される

### ゆーらくの設計費の予算計上に疑義

定例会最終日、令和5年度一般会計予算案の「温泉観光施設費」について、事業費のうちの一部を予備費に移す予算修正案が5名の議員より提出され、本会議にて可決されました。

### 修正案(商工費)の提出理由は?

市では平成28年3月に策定した「公共温泉施設の在り方・再編方針」により、温泉施設は全て民間譲渡する方針として事業を進めてきました。

しかし、その後民間譲渡した施設のうち3施設が市に返還されたことなどもあり、これまでの方針を改めるよう幾度となく議会で求めてきました。

その結果、令和4年6月定例会における一般質問に対して、これまでの方針を見直し、「一部施設については市で関与を継続していく」との答弁がされました。また、新たに建設される「ゆーらく」は、温泉観光施設ではなく、地域コミュニティ施設と位置づけることが令和5年1月に示されました。

しかし、本議会において提案された予算案では、ゆーらく建設に関する事業費が、従来と同じ温泉観光施設費として計上されました。

産業建設分科会ではこれに関する質疑がされましたが、市からは納得できる説明が得られませんでした。一刻も早く議会と市民に対して方向性を示し、温泉施設に関する方針を決定した後に予算計上・執行すべきであるとの理由から、対象事業に関する費用を予備費に移す修正案が提出されました。

### 令和5年度一般会計予算商工費に対する修正案

趣旨	ゆーらくは公共温泉施設ではなく、地域コミュニティとして位置付けられるとの説明がされていたが、これまでと同様に温泉観光施設費に予算を計上しているのはおかしい
修正内容	ゆーらくに関する予算を減額し、予備費に組み替える

### 大型公共施設を含む予算案を審議

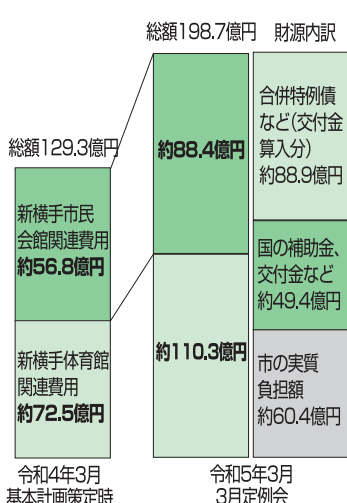
今定例会に横手体育館、市民会館の建設予算を含む予算案が上程されました。

市では両施設の在り方を検討する「市民検討委員会」で出された意見を基に、令和3年3月「横手体育館及び横手市民会館整備基本構想」を策定。議会ではその後2年にわたり意見交換を行いました。

### 建設予定額が当初の1.5倍以上に

この間に新型コロナウイルス感染症拡大や、国家間紛争などの予期せぬ事態が発生。それに伴う資材不足や物価高騰もあり、計画策定時に130億円と説明されていた事業費が、今回の提案で200億円まで跳ね上がりました。

### 大型公共施設建設予定額の推移



### 課題未解決の中、判断を迫られる

議会からは、設計画が出された当初から財政面での将来的な市民へ負担のほか、建設予定地周辺の渋滞対策や救急、消防対応への影響などの課題について質し続けてきました。しかし、その課題の多くが解決しないまま、両施設建設費用を含む予算案が提案。それに対し異論が続出し、事業の見直しを求め、複数の予算修正案が提出される事態となりました。

### 4年度補正予算に対する修正案提出

修正案の趣旨 主な財源として合併特例債などを活用するのであれば、大型公共施設建設事業を1年先延ばしても事業の実施は可能であり、市民に親しまれる、身の丈にあった施設の建設計画を直すべきとのもので、事業を前倒しして実施するための予算を減額しようとするものです。

### ■予算決算委員会での採決の結果、起立少数で否決

令和4年度一般会計補正予算(第13号)企画費に対する修正案	
趣旨	新体育館、新市民会館の建設計画を1年先送りし、身の丈に合った施設となるよう内容を再検討すべきだ
修正内容	新体育館、新市民会館建設を前倒しで実施しようとするための予算を減額

### 5年度予算に対する修正案提出

大型公共施設建設に関して、5年度一般会計予算の修正案が2件提出されました。

### 修正案①の趣旨

前述の4年度補正予算に対する修正案と同様の趣旨で、大型公共施設建設事業費のうち、補助金や起債など特定財源に関する部分以外の予算を減額し、大型公共施設建設の事業執行を停止しようとするものです。

### ■予算決算委員会での採決の結果、起立少数で否決

### 修正案②の趣旨

道路維持を始めとする生活インフラの維持管理に対する市民要望にも対応できないにもかかわらず、巨額の投資をするには無理があるため、今回は汎用性の高い体育館整備のみに注力すべきとのもので、市民会館建設に関する予算を減額しようとするものです。

### 令和5年度一般会計予算修正案

	企画費に対する修正案①	企画費に対する修正案②
趣旨	令和4年度一般会計補正予算(第13号)企画費に対する修正案と同じ	巨額の歳出を伴う大型公共施設二つを一度に建設することは無理がある。汎用性の高い体育館建設のみに注力すべきだ
修正内容	新体育館、新市民会館建設に関する予算の一部を減額	新市民会館建設に関し、決定済となっている部分以外の予算を減額

### ■予算決算委員会での採決の結果、起立少数で否決

3月定例会は2月20日から3月17日までの日程で開催されました。議案審査の中から、特に注目する内容について取り上げます。

### 討論 反対 播磨博一議員

横手体育館、市民会館の改築については進めるべきと考える。しかし、あまりにも巨額な事業費で、当市の財政規模から鑑みて到底容認できる金額ではない。財政に与える影響は甚大であり、今一度立ち止まって考え直すべきだ。

### 賛成 齋藤光司議員

大型公共施設建設は市長の公約。事業費の全てが市民負担になるわけではない。有利な財源がある今を逃す手はない。

■採決の結果、起立多数となり、大型公共施設建設予算を含む一般会計予算案は可決されました。

### 修正案がたくさん出された理由は?

今定例会には4件の修正案が出される異常事態となりましたが、その全ては市からの説明不足などによるものです。市民の負託を受けた私たちが慎重に判断するために、今後は市から十分な事業内容の説明と議論する時間が必要です。



厚生常任委員会

「耳が聴こえないことはコミュニケーション不足や認知症、または家族との連絡が取れないなどにつながるため必要だ」
「当初予算に計上されることになった。これをどう具体化するか前向きにやっていたきたい」



新横浜市民会館建設に伴い解体されたことになった横浜市高齢者センター
厚生常任委員 土田百合子・柴田 忍・宮川 拓也・林 一輝・立身万千子・青山 豊・佐藤 忠久

高齢者センター利用者への配慮は？
横手市高齢者センター設置条例を廃止する条例
利用者への十分な説明と周知期間は設けていたのか。
定期的利用しているのは10団体ほどあり、3年度は一回、4年度はさらに2回の説明会を行った。ほかの活動場所についての相談があったため、横手地域内の利用可能な施設の情報提供をするなど、できる限りサポートしている。
加齢性難聴者の補聴器購入への補助を求める陳情
「耳が聴こえないことはコミュニケーション不足や認知症、または家族との連絡が取れないなどにつながるため必要だ」

産業建設常任委員会

中小企業より大企業が支援を受けやすくなるのはなぜか。
横手市企業振興条例の一部改正
投資要件を変えることで、資本金のある企業が支援を受けやすくなるがその意図は。
この条例での支援とは別に、従業員50人未満の企業向けに設備導入の支援制度がある。企業の設備投資額がここ数年で大幅に増額しているが、市内中小企業は大企業からの下請けがかなりあると思われるため、大企業を支援することで中小企業をけん引してほしいと考える。
業種によって異なっていた雇用要件を統一した意図は何か？
工業団地もこれまで空いていた用地が埋まり、運送業など物流の重要性が非常に増ってきている。人材確保が難しくなってきた。現在、そこにてこ入れすることで既存の製造業の事業もスムーズに進むのではないかと考え、雇用要件を統一したものである。



企業の進出が続々と決定している横手第二工業団地
産業建設常任委員 菅原 正志・佐藤 誠洋・齋藤 光司・加藤 勝義・鈴木 勝雄・小野 正伸・播磨 博一・木村 清貴

総務文教常任委員会

地区交流センターの方向性は？
横手市地区交流センター設置条例の制定
市として、将来的に指定管理を目指すのか。また、現時点でそのような要望はあるのか。
指定管理「できる規定」としているが、現時点での要望はない。将来的に自主運営組織の成熟度が上がり、そのような要望が出て来た場合には検討したい。
督促手数料廃止に伴う関係条例の整備に関する条例
国の地方税手続きのデジタル化推進に伴い、納付方法が多様化している。納付の利便性向上や事務の効率化につながるのには良いことだが、督促手数料廃止についての周知の仕方によっては、納付に対する気の緩みにつながってしまうことが懸念されるかどうか。
督促状、催告書はこれまでどおり発行する。収納率向上に向け、引き続き取り組んでいきたい。



アウトドア防災事業などさまざまな取り組みが行われている地区交流センター
総務文教常任委員 高橋 和樹・菅原 恵悦・大日向香輝・福田 誠・塩田 勉・加藤 雄太・本間 利博・井上 忠征・高橋 聖悟

賛否が分かれた議案と審議結果

その他の議案は全員賛成により可決されました。○：賛成 ●：反対
※寿松木孝議長は採決に加わりません。

Table with columns for Case Name, Decision Result, and various council members' votes (賛成, 反対, etc.).

陳情の審査結果

- 採 択
◆学校部活動の地域移行に関する陳情書 (加賀屋 俊悦氏)
◆「最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める陳情書 (秋田県労働組合総連合議長 越後屋 建一氏)
◆最低賃金の改善にあたり、「中小企業・零細企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 (秋田県労働組合総連合議長 越後屋 建一氏)
◆消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的な改正を求める陳情書 (秋田弁護士会会長 松本 和人氏)
◆加齢性難聴者の補聴器購入への補助を求める陳情 (全日本年金者組合横手支部支部長 佐々木 章氏)

議案PickUp

令和4年度一般会計補正予算(第13号)

大型公共施設整備を前倒しして実施するための予算や、保育所などの送迎バスに園児置き去り防止対策を行うための予算、農業用機械などの導入支援のための予算などについて審査し、可決しました。

長寿祝金条例の一部を改正する条例

高齢者福祉事業の見直しにより、88歳長寿祝金が廃止されます。

地区交流センター設置条例

公民館の名称が「地区交流センター」となります。

工事請負契約(建築本體工事)の締結

雄物川地域にある西部斎場が改築されます。令和6年春に供用開始予定です。

人事案件

- 副市長の選任
無記名による投票により賛成多数で同意しました。
村田 清和氏(新任)
人権擁護委員候補者の推薦
佐々木一枝氏(平鹿・新)
佐々木誠宗氏(平鹿・新)
吉川美津子氏(平鹿・新)

1月臨時会の概要

出産・子育て応援給付金を支給するための事務経費や、除雪費に関する補正予算などを審査し、いずれも可決しました。



# どんな事業が行われる？

## 令和5年度一般会計予算

### 厚生分科会

#### 子育て支援&高齢者事業が見直しされスタート

◆産後ファミリー応援事業  
家事代行費用を助成するこの事業をどう周知するの？

答 1歳未満の子の保護者には個別に案内を出し、今後、生まれる子の保護者には児童手当の申請時などの窓口で周知を図る。

◆対象を生後1歳までにした理由はなに？

答 1歳を超えると保育所に入所させる方が多くなることや、費用対効果を考えたためである。

#### 交通助成券交付事業

◆高齢者福祉事業の見直しによる新規事業だが、周知や対策は。

答 事業の見直しの全体像について

では、4月にチラシを全戸配布する。また、担当部署内に専用ダイヤルを設けて、案内や問い合わせへの対応をしていく。民生児童委員にも、周知や啓発、申請の援助を担っていただく予定だ。4月以降は、担当職員がいきいきサロンなどに出向いて丁寧に説明をしていく。

### 総務文教分科会

#### 大型公共施設を建設できる財政的根拠は

◆横手体育館・市民会館整備事業  
198億円の事業費となるが、建設できると判断した根拠は。

答 補助金や合併特例債などの活用により、市の将来負担額は約60億円と推計しているため20年償還で年間約3億円。このほか維持管理費を1億円ずつ見込み、必要な一般財源を年間約5億円と試算している。これに基づいての財政見通しを推計し、市の基金残高や将来負担比率などの推移は、健全な範囲と見込んでの判断である。

#### 小中学校照明LED化事業

◆何年かけて行うのか。また、体育館以外も実施するのか。

答 小中学校20校のうちLED化されていない体育館を年間4校程

◆スポーツ立市よびについて  
10周年関係事業企画についての考えは。

答 スポーツイベントや競技団体などによる大会を記念事業と位置づけ、スポーツ推進委員やスポーツ大使の協力を得て、市民の意識の高揚を図っていく。

#### 討論

◆反対 生活インフラへの投資など、課題は多い中、事業の遂行は妥当と思えない。汎用性の高い横手体育館に注力すべきで、横手市民会館の機能、再配置、予算の在り方の再検討を望む。

◆可 起立採決の結果、出席者起立多数となり、可決すべきものと決定した。



平成25年4月に行われたスポーツ立市よび宣言式典

### 産業建設分科会

#### ゆーらぐの予算計上方法に批判続出

#### 温泉観光施設費

◆ゆーらぐが、温泉観光施設費に予算計上されているのはなぜか。



ゆーらぐは温泉機能を持つ地域コミュニティの場となる予定

答 地域コミュニティ施設として位置付ける方針だが、温泉観光施設費に計上したのは実施設計にかかる予算である。その後、工事費用を適切な予算科目へ移行する予定である。

#### 若年者等人材育成・地元定着支援事業

◆若者の人材育成のための予算が少ないと感じるがどうか。

答 地元就職比率を上げないと働く場を確保しても人手の確保が困難な状況である。若者支援には市をあげて取り組んでおり、インターンシップやポータルサイト構築事

業を中心に実施しているほか、県やハローワークとの連携によりさまざまな就職説明会や企業説明会を開催している。企業誘致によって若者が活躍できる企業が地元を増えていることをアピールするなど、高校生だけでなく小学生も対象として、横手で就職したいという気持ちを育てていきたい。



高校2年生向けに開催している「横手のスゴイ企業発見!ガイダンス」

#### 果樹等災害復旧事業

◆薬剤助成についての議会の決議が守られていない。

答 令和3年度予算に対し議会から出された、薬剤助成30%を維持すべきとする「市内農家への支援を求める決議」は重く受け止めている。産地をなんとかしたいという思いは共有している。この助成については未収益の期間を支援するものであり、JAと連携しながら復旧度合を確認し、きちんと対応していきたい。

### 総括質疑

#### 大型公共施設整備事業について

##### 本間利博委員

問 市民スポーツを推進するため新横手体育館のコンセプトや役割はどのようなのか。

答 「市民が日常的にスポーツ活動や健康づくりに親しむことができ、健康づくりをコンセプトとし、それを実現することが大きな目的、役割だ。

問 新横手体育館を防災拠点としてどのように活用するのか。

答 県と市の地域防災計画では、広域防災拠点として位置付けられ

算値が見込まれる。

◆インバウンド対応事業  
多言語対応など受け入れ体制はどうなっているか。

答 今年度は英語の通訳案内士を養成した。さらに中国語の通訳案内士を養成する予定であり、市内の観光名所を案内する仕組みも整えたい。

ており、災害規模に応じた二次的な運用を想定している。平常時には、防災訓練や防災イベントの機会を創出するなど、防災意識・知識の向上に取り組む。

◆新体育館や新市民会館の運営の方向性は。

答 運営計画には、施設の市民利用や貸し出し、人的交流や地域経済への波及効果を高める二つの側面がある。各種団体や周辺の既存施設との連携を図りながら、効果的に進めるためのさまざまなかたちを検討していく。







●大型公共施設建設によるウェルビーイングの捉え方

問 膨大な費用を掛けて建設す

問 最近ウェルビーイング(幸福度)という言葉を見聞きするようになった。この背景の一つに、人口減少・少子化がある。その中で子育て対策として、横手市独自に小中学校の給食費完全無償化も必要と思うが、考えを伺う。

答 当市の給食費は、食材購入経費のみを児童生徒の保護者より負担いただいている。給食費無償化の取り組みは、県内自治体ですでに3町村で実施している。その成果を検証し、他の事業との優先順位なども考慮しながら、実施について判断していく。

小中学校の給食費完全無償化を

代表質問

創成の会

加藤 勝義 議員

かとう かつよし



問 膨大な費用を掛けて建設す

答 工事費削減は可能な限りの手立てを講じる。規模縮小は基本コンセプトを崩す事になるので、それは維持していきたい。

問 二つの施設の建設費は、約200億円である。建設後に同額以上の管理費が必要だ。将来世代に負担を残さないように、工事費削減と規模縮小が必要と思うが。

答 二つの大型公共施設建設が市民のウェルビーイング向上につながるかと考えているのか。

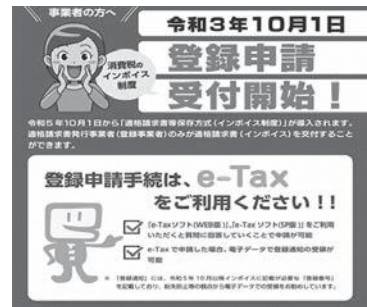
ここから一般質問

問 規程・運営・予算など見直しは。

答 規程は基本構想、基本計画に基づいており適正と判断。運営については直営から開始するが、具体的運営計画を検討する中で指定管理も可能と考えている。予算に

問 本年10月から消費税にインボイス制度が導入されるが、小規模事業者への広報・相談体制は。

答 横手商工会議所・よこて市商工会の会報やセミナーによる周知と、横手税務署と商工団体の連携による制度説明会の開催で周知が図られてきた。市でも申告会場でチラシを配布。相談体制は商工労働課で関係機関と連絡を密にして対応する。さらに横手税務署と商工団体が連携して、定期的に登録申請相談会を開催している。農業者などへの対応は、県・市・JAの連携により研修会を行っている。



令和5年10月からインボイス制度が導入。登録申請はお済みですか？

井上 忠征 議員

isonaka chuuzei



インボイス制度導入における行政の対応は

問 本年10月から消費税にインボイス制度が導入されるが、小規模事業者への広報・相談体制は。

答 横手商工会議所・よこて市商工会の会報やセミナーによる周知と、横手税務署と商工団体の連携による制度説明会の開催で周知が図られてきた。市でも申告会場でチラシを配布。相談体制は商工労働課で関係機関と連絡を密にして対応する。さらに横手税務署と商工団体が連携して、定期的に登録申請相談会を開催している。農業者などへの対応は、県・市・JAの連携により研修会を行っている。

答 大規模事業者への対応は、資材費高騰で事業費が増加したが、設計内容の精査、有利な財源の確保で実現可能と判断し現時点では見直しを考えていない。



11人の議員が市政を問う

が聞きたい!



会派代表質問

- ◆さきがけ 塩田 勉 議員 出生数激減！少子化対策は待ったなしだ など
◆創成の会 加藤 勝義 議員 小中学校の給食費完全無償化を など

一般質問

- ◆井上 忠征 議員 インボイス制度導入における行政の対応は など
◆菅原 正志 議員 営農支援に向けた人材確保の方向性は など
◆佐藤 誠洋 議員 優先すべきは大型公共施設よりも市民生活だ など
◆宮川 拓也 議員 公共温泉施設の向かう先は など
◆立身万千子 議員 新大型施設建設より既存施設の修繕を！ など
◆土田百合子 議員 新たな横手市地域公共交通計画に向けて など

2月28日に会派代表質問が、3月1日～3日に一般質問が行われ、市長の施政方針や教育長の教育行政方針、そのほか市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。



- ◆福田 誠 議員 スポーツによるまちづくりで地域活性化を
◆菅原 恵悦 議員 高齢者福祉事業の見直しはなぜ必要か
◆鈴木 勝雄 議員 水田利活用緊急対策事業の見直しを問う など

QRコードを読み取ると、録画放送をご覧いただけます。

- ①スマートフォン、タブレットなどでQRコードを読み取る
②ページが開いたらYouTubeを再生する



問 出生数が激減し、危機的状況となっている。この状況にどのように対応していくのか。

答 当市の出生率はこの10年でおおよそ3分の2までに減少した。このような状況を踏まえ、「よこての未来創生プロジェクト」をスタートし、部局横断で事業化を検討した。これをもとに、より効果的かつ即効性のある事業とするよう鋭意検討している。

問 今後、どのような事業を行っていく予定か。

答 国の「次元の異なる少子化対策」が今後示されるため、令和5年度予算では既存事業の拡大などに留めた。引き続き国の動向も踏まえ、「よこての未来創生プロジェクト」を中心に、



出生数激減！少子化対策は待ったなしだ

代表質問

さきがけ

塩田 勉 議員

しおた つとむ



問 今後の財政見通しは

答 大型公共施設建設に当たっては138億円程度借り入れする予定としており、経常収支比率の変動要因となるが、あくまで一時的なものを見込んでいます。

問 大型公共施設建設によって財務予測はどのようになるか。

答 政府は2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減する計画を発表した。地方公共団体では51%削減が目標とされたため、市の目標も修正する予定だ。

地域や市民が一丸となって取り組み課題と捉えている。

問 カーボンニュートラルについて

温室効果ガス排出量削減をどのように進めるのか。



### 菅原 正志 議員

すがわら ただし



## 営農支援に向けた人材確保の方向性は

**問** 市職員の兼業による営農支援はどのように行うのか。

**答** 農業支援のための市職員の兼業認定は、令和5年度からの運用開始を目指して許可基準案を検討している。業務内容は農林業における生産や収穫などの人手を要する業務や、草刈り、除排雪など地域環境の維持管理業務などを想定している。運用開始に当たっては、市職員からの具体的な申請に基づき、個別に許可を判断していく。

**問** J A 無料紹介所などの人的支援の実効性をどう高めるのか。

**答** 無料紹介所については、令和4年度87件の実績となったが、求人数に対して求職者が少ない状況にある。より実践的業務ができる人材を求める農家側と、ライフスタイルにあわせて働き方を望む求職側の希望がある。J A とはこうした考え方や、実績と課題の共有を図りながら協議を進めている。今後も農作業講習会の実施や情報提供支援など、基幹産業である農業が働く場として多くの市民に理解され、労働力が確保されるようJ A と取り組みを進める。

**■その他の質問**

- 産地継続のために
- ① 廃園、放任園対策は
- ② 転作田の水張りへの取り組みは
- ③ 集積化、団地化への取り組みは

●関西圏との交流について

●市役所内での女性活躍について

●賀詞交歓会について



### 佐藤 誠洋 議員

さとう まこと



## 優先すべきは大型公共施設よりも市民生活だ

**問** 横手市財産経営推進計画（F M 計画）に大型公共施設のランニングコストを含んだフルコストが記載されておらず、建築資材や労務費の高騰も反映されていない。また、大型公共施設建設の前提となるF M 計画において、既存の公共施設や道路橋りょうなどのインフラの更新費用、令和8年度以降の投機的経費が少なすぎる。計画上の数字は希望的観測で、大型公共施設建設を実現させるための試算になっている。市民に密着した行政を目指すべきではないか。

**答** 将来推計と投資実績の差を縮めるためには、公共施設の保有総量の圧縮と適正な維持管理など、市民の安全安心につながる総合的評価を行うことが重要と考えている。今後もF M 計画の確実な実施に努め、財政計画との整合性も図りながら進めていきたい。

**問** 当局には、全国に誇れる「スポーツ立市条例」があるにも関わらず、今後何をやるかが見えてこない。新体育館を建てるのが目的になっており、まさに時代錯誤の建物信仰だ。目的と手段が全く逆になっているのではないか。

**答** 新体育館では、これまでは困難だった全国規模の大会などの誘致も実現していきたい。また、ブライヤの興行や大規模イベントを観戦したり、楽しむといった市民利用の幅を広げ、市内外の人の交流や地域経済の活性化にもつなげたい。



人手要ります！

**問** 財産経営推進計画（F M 計画）を市民にしっかりと説明するべきではないか。

**答** 既存施設の老朽度を調べ、今後の見通しを決めている。また、計画の進行状況や改訂内容をお伝えするF M 通信を年に一回発行し、市民の皆さまにお知らせしている。

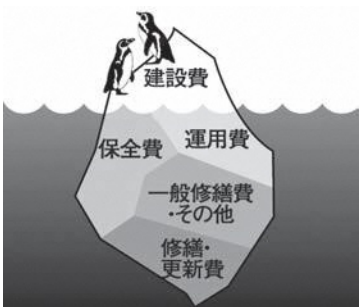
**問** 雨漏りなどの不具合について修繕を急ぐべきではないか。

**答** 施設の現状を所管課で把握しF M 計画や財政計画との整合性を図り、予算を決定している。

●新施設の建設とその維持管理について

**問** 当初の計画から大幅に増額された両施設の建設計画は、維持管理にも膨大な経費を要すると懸念する。見直しすべきではないか。

**答** 将来にわたって人を引き付ける魅力と賑わいにあふれる横手市を築くために必要であり、適正な



建設費は氷山の一角。ランニングコストを含めたフルコストは建設費の4倍になるとも言われる

### 宮川 拓也 議員

みやかわ たくや



## 公共温泉施設の向かう先は

**問** 大森健康温泉が民間事業者から市に返還になった経緯と今後の方針を伺う。

**答** 老朽化などによる改修コストがかさみ、赤字経営が続いていたことが主な理由。今後は他の公共温泉施設との方向性案と合わせ、市民の皆さまに提示していく。

**問** 市が保有する施設では公共温泉施設として市民サービスの充実をお願いしたい。今後の温泉事業の展望を伺う。

**答** 各施設の状態把握、アンケート調査結果、利用状況などを確認しながら、一部の温泉施設の経営については市が関与して継続する方向で検討していく。

●既存の図書館、公共施設の活用について

**問** 大森図書館を例に挙げるが、利用に当たって制限が多く、照明や設備など、利用しづらい雰囲気



があるため改善をお願いしたい。

**答** ご指摘の通り、時代に合わない課題が残った状態にあるため、早急に改善に取り組む。

**問** 横手図書館、横手体育館、市民会館など、大型公共施設の建設が今後も予定されているが、新しい建物ばかりに注力するのではなく、今ある建物を有効的に活用してほしいがどうか。

**答** 必要な建物は利用者に喜んでいただけるよう努力しつつ、最大限付加価値を増大させていくよう努めていきたい。



休館となった大森健康温泉

### 立身 万千子 議員

たちみ まちこ



## 新大型施設建設より既存施設の修繕を！

**問** 財産経営推進計画（F M 計画）を市民にしっかりと説明するべきではないか。

**答** 既存施設の老朽度を調べ、今後の見通しを決めている。また、計画の進行状況や改訂内容をお伝えするF M 通信を年に一回発行し、市民の皆さまにお知らせしている。

**問** 雨漏りなどの不具合について修繕を急ぐべきではないか。

**答** 施設の現状を所管課で把握しF M 計画や財政計画との整合性を図り、予算を決定している。

●新施設の建設とその維持管理について

**問** 当初の計画から大幅に増額された両施設の建設計画は、維持管理にも膨大な経費を要すると懸念する。見直しすべきではないか。

**答** 将来にわたって人を引き付ける魅力と賑わいにあふれる横手市を築くために必要であり、適正な



規模と判断している。なお、維持管理費については全体的なコスト縮減に努めていく。

●地域公共交通について

**問** 自治体の「移動政策」は元気な市民（特に高齢者）の外出支援であり、市民の声を次期の「横手地域公共交通計画」に反映させて、さまざまな交通手段の活用を図ってほしい。

**答** デマンド交通、循環バスなどを組み合わせて有効に機能させ、市民が「乗って守る」公共交通を維持発展させたい。



予算不足との理由で作動しない公共施設の暖房設備



土田 百合子 議員

つちだ ゆりこ



新たな横手市地域公共交通計画に向けて

問 路線バス角間川線廃止についての現状を伺う。

答 角間川線は、羽後交通株式会社より、令和5年9月末までの路線廃止の申し出を受け、利用者に対してのアンケートやバスへの乗り込みによる聞き取り調査を行った。住民説明は3会場で開催しているが、今後も丁寧に沿線住民の声を伺っていく。

問 デマンド交通利用時に乗り降りできない中心部バスゾーンの解消の話し合いは行われているのか。

答 市の路線バスやデマンド交通循環バスなどの複数の交通手段が、バランスを保ちながら運行されている状態が当市の交通の在り方である。まずは、現在のかたちを維持していきたい。

●高齢障がい者に対する介護保険サービスについて

問 負担軽減制度の周知の徹底を。



令和5年9月末で廃止される路線バス角間川線

答 これまで、制度に該当する可能性のある障がい者の方々に、介護保険制度への移行後に手続きのお知らせを実施してきた。今後は65歳に到達する障がい福祉サービスを利用していただく方々に対し、事前に通知による制度周知を行う。また、相談支援専門員や、ケアマネジャーなどへの制度内容の浸透を図る。あわせて現在策定を進めている「第3次障がい者計画」に本制度の周知も含め、サービスの適正な利用に取り組み行く旨を盛り込む。

福田 誠 議員

ふくだ まこと



スポーツによるまちづくりで地域活性化を

問 地域スポーツコミッションはスポーツによる「まちづくり」と「地域活性化」を推進していく組織であり、横手市にも設立するべきと思うがどうか。

答 スポーツ政策実務を担う教育委員会のほか、一般財団法人横手市体育協会をはじめ、各団体が連携しながら幅広く事業を展開し、地域経済の活性化に向けた取り組みを行っている。今後、スポーツコミッションも視野に入れながら体制づくりの強化を検討する。

問 気軽にスポーツに親しむ大会の開催とともに、ニユースポーツ

として横手発のスポーツによる大会の開催を検討してはどうか(スポーツ雪寄せ世界大会、フット巴厘、スノーバレーなど)。

答 スマイルポウリングをはじめとしたニユースポーツのイベントを各地区交流センターなどにおいて



フット巴厘 みんなでスポーツをしよう!

て幅広い年代を対象に実施している。こうした活動は、「スポーツ」と「健康づくり」に寄与しており、まさにスポーツ庁の提唱する「スポーツインライフ」の取り組みを實踐できていると考えている。

問 部活動の地域移行について、国や県の動向を探るだけでなく、横手市が独自に進めてはどうか。

答 「今後の部活動の在り方検討会」を開催していくこととしており、そのなかで、関係機関や地域と協議を重ねながら、横手市の現状にあった進め方を検討する。

菅原 恵悦 議員

すがわら けいえつ



高齢者福祉事業の見直しはなぜ必要か

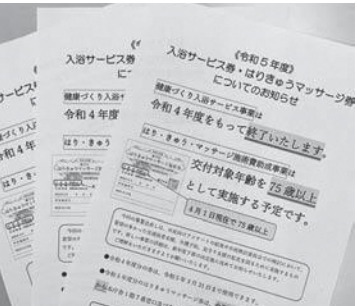
問 高齢者福祉事業の大幅な見直しが行われたが、見直しの経緯は。また、今後の高齢者事業への市の考えは。

答 少子高齢化など、社会情勢の変化に伴い意向調査や市民検討委員会を設置し協議した。その結果を踏まえ、優先すべき課題へ財源を振り替えて、地域課題の解決に必要な事業を推進していく。

問 入浴サービス券事業は令和4年度を持って終了する理由と、その「お知らせ」が早々に全戸配布されたのはなぜか。

答 令和3年度の利用率は7.5%と非常に低かった。そのため、交通弱者対策などへ活用すべきとの意見が多く終了とした。これまでは年度当初から使用されており、早めにお知らせした。

問 高齢者福祉事業の見直しは、市民への丁寧な説明が重要である



高齢者福祉サービス終了について全戸配布されたチラシ

と考えるがどうか。  
答 制度の変更に伴う混乱を招かないように、目的や意義について丁寧な説明を尽くしていく。  
●老人クラブ活動への支援について  
問 老人クラブ活動への補助金は「使い勝手が悪い」と言われているが、内容について再検討する考えはあるか。  
答 老人クラブ活動は、地域での大切な役割を果たしている認識しているため、有効な支援策を引き続き検討していく。

鈴木 勝雄 議員

すずき かつお



水田活用緊急対策事業の見直しを問う

問 水田活用緊急対策事業は市独自の直接支払交付金だ。この事業による土壌改良や複合産地としての園芸作物の拡大維持が必要であり、そのためにも交付金の高上げが必要不可欠と思うがどうか。

答 当該事業は生産基盤強化に向けて、国からの産地交付金に上乗せしている事業だが、近年の生産費の上昇、費用対効果も含め、面積要件や助成単価の引き上げなど見直しについても検討している。

問 肥料、資材、燃料や飼料の高騰に対し、追加で支援することだが、施設園芸、畜産だけでなく露地作物でも生産や出荷に係る経費が大幅に上昇している。それに対しても独自の助成ができないか。

答 今後、資材などの価格動向の把握に努め、国や県の支援策を確認し農業者が意欲的に取り組めるよう、県やJAなど関係機関と連



水田の春作業を前に北帰行準備の白鳥たち

携し対応する。  
問 国の水田活用交付金事業において畑地化推進のルールが示されたが、一度畑地にすると水田に戻すことはできず、交付金ももらえなくなる。課題が多い事業だと思いがどのように対処するのか。  
答 当市にふさわしい持続可能な複合産地の維持拡大、水田や農地のフル活用に向けた施策を推進しながら、国に対し必要な要望活動、情報収集を行い対応していく。  
■その他の質問  
●新横手体育館の設計について





# 議場へ ようこそ

横手市増田民生児童委員協議会



増田民生児童委員協議会 会長  
石垣 正子さん

市営温泉施設が今後  
どうなっていくのか  
心配ですね。



増田民生児童委員協議会 企画部会長  
尾張 一夫さん

必要な情報が、市から  
住民に十分伝わって  
いないと感じました。

3月2日、増田民生児童委員協議会の26人の皆さんが、市議会の取り組みを今後の活動の参考とするため、一般質問の傍聴にいらっ  
しゃいました。

増田民生児童委員協議会の皆さんが市議会を傍聴した様子は、3月13日に「もっと教えて！横手市議会」で放送しました。放送内容は横手市議会ホームページからお聴きいただけます。



## 議会の主な動き

- 1月
  - 12日 厚生常任委員会協議会
  - 16日 全員協議会(行政課題説明会)、産業建設常任委員会協議会
  - 19日 香川県東かがわ市議会行政視察受け入れ、総務文教常任委員会協議会
  - 23日 正副委員長会議、議会運営委員会
  - 26日 高校生議会だよりモニター意見交換会【P14】
  - 27日 市議会1月臨時会【P4】、全員協議会(行政課題説明会)
  - 31日 議会運営委員会行政視察(～2月1日、栃木県那須塩原市、日光市)【P14～15】
- 2月
  - 2日 全員協議会(行政課題説明会)、総務文教常任委員会協議会、産業建設常任委員会協議会、厚生常任委員会協議会、広報分科会
  - 6日 秋田県市議会議長会第2回定例会(秋田市)

- 2月
  - 14日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会・行政課題説明会)、会派代表者会議
  - 17日 秋田県後期高齢者医療広域連合議会2月定例会(秋田市)
  - 20日 市議会3月定例会(～3月17日)【P2～13】
  - 24日 広報分科会
  - 28日 産業建設常任委員会協議会
- 3月
  - 1日 議会運営委員会
  - 2日 全員協議会(議案説明会・行政課題説明会)、ICTプロジェクトチーム会議
  - 3日 会派代表者会議
  - 7日 厚生常任委員会協議会、産業建設常任委員会協議会、総務文教常任委員会協議会
  - 13日 正副委員長会議、議会運営委員会、広報分科会
  - 14日 全員協議会(行政課題説明会)、議会改革推進会議
  - 17日 議会運営委員会、全員協議会
  - 23日 広報分科会
  - 24日 ICTプロジェクトチーム研修会
  - 28日 広報分科会、オンライン会議研修会

## ダメ出し続出 高校生議会だよりモニターとの懇談会

1月26日、議会だよりモニターとして登録いただいている雄物川高校生徒会の皆さんにご参加いただき、高校生議会だよりモニターとの懇談会を開催しました。  
モニターの皆さんからは、特に若者にも読みやすくするという視点から、さまざまなアイデアなどをいただきました。



文字が…多すぎる…  
読む気が…しない…

全部の記事を  
マンガみたいなコマ割りに  
しちゃったらどう？

見出しが長いと  
それだけで読みたく  
なくなるよ

専門用語とか  
難しい言葉が多いと  
読む気が  
起きないんだよな…

横書きの記事の方が  
読みやすくなりそう  
じゃない？

ネット配信だけに  
なっちゃったら、  
困る人もいるだろうな～

なんか古くさッWWW  
背景とかもっと垢抜けた感じに  
なったらいいのに

メリハリのある色使いで  
読ませたい記事を  
目立たせるようにしたら？

表紙にガツンと  
インパクトのある言葉が  
あると、おっ!!!て  
なるよ

高校生議会だよりモニター会議の様子は、2月13日に「もっと教えて！横手市議会」で放送しました。放送内容は横手市議会ホームページからお聴きいただけます。



### 議会運営委員会 1月31日～2月1日

視察を終えて

ポイント

オンラインミーティングの導入  
庁舎の新築によりWi-Fiの環境が整ったことに伴いGoogleMeetを採用。委員会の傍聴や議員間の打ち合わせに積極的に活用している。

わかりやすい一般質問とは  
一般質問の参考資料を議場両脇にある大型モニターに表示できる。

視察を終えて

▼大規模災害や感染症などさまざまな場面を想定し、今後ますますオンラインを活用した会議を日常化するべきと感じた。委員会条例などの改正を早急に進めたい。

▼一般質問の資料については、通告時に議長に提出し、議会運営委員会でも審査し、掲示・配布の可否を決定して、参考にさせていただきたい事例であった。

### 議会運営委員会 1月31日～2月1日

先進地から学ぶ

議会取組実行計画の仕組みについて

栃木県 那須塩原市議会

ポイント

行動する議会を前面に！  
議会基本条例に基づき、毎年度、事務事業評価を行い、しっかりとした評価指標を設定している。フォーアアップを実施しながら、着実に議会として取り組むべき実行計画を明確に表示していた。政策提案も活発に行われている。

視察を終えて

▼那須塩原市議会は議会改革度調査で毎年上位にランキングしており、議員の熱意が伝わってきた。

▼次年度の予算に反映させるために10～11月に政策の立案や提言の検討作業に入るなど、かなりの労力を費やしている。

▼全議員のスキルアップは必要だが、力不足のなり、リーダーシップを発揮する議員も必須と感じた。



# 青春 キャンパス色

横手南中学校  
美術部

## 「部員みんなが切磋琢磨」

こんにちは。横手南中学校美術部です。昨年度は新入生が多く入部してくれたので、総勢24人で毎日賑やかに活動してきました。

週4日の活動の中では、県展や各種ポスターコンクールなどのさまざまな公募展に向けて作品を制作しています。お互いに助言し合いながら制作することで、例年多くの部員が賞を獲得してきました。

コンクールへの出品以外にも、季節の行事に合わせて校内で展示会を開いています。新たな画材に挑戦したり、表現の可能性を広げる機会として、一人一人が制作に意欲的に取り組んでいます。

最も大きな行事である学校祭では、毎年テーマを決めて、平面や立体などの個性的な作品制作に

取り組み、階段アートにも挑戦しています。その年を象徴するテーマで制作しているので、学校祭にいらした際には、ぜひとも注目して下さい。

私たちは先輩方が築き上げてきた伝統を守りながら、新しいことに常に挑戦していけるような美術部を目指しています。

横手南中学校美術部 部長 橋本愛海なるみ



横手南中学校美術部の皆さん

## 議場へようこそ 特別編 明照保育園さくら組

わたしたちが大きくなっても  
ずっとだいすきなまちにしてね！

3月20日、明照保育園さくら組のみなさんが、議場見学にいっしょにきました。

横手市議会についてお話を聞いたあと、市長へのインタビューが行われました。



よくて  
だいすき



よこてはこれから  
どんなまちに  
なるの？

新しい図書館も  
できるんだよ。  
たくさん本を  
読んでね！

## 横手がまくらFMで市議会情報を知ろう！

横手市議会では、市議会の活動や取り組みを議員自らの声で紹介するFM番組「もっと教えて！横手市議会」を放送しています。

横手がまくらFM 77.4MHz  
もっと教えて！横手市議会  
毎月第2・4月曜日 午前10時40分～  
再放送：翌火曜日 午前7時30分～

好評  
放送中

◆主な放送内容(予定)  
4/24・5/2 令和4年度トピックス  
(大型公共施設、市営温泉など)



分かりにくい  
議会用語などは  
こちらで  
解説しています



分かりにくい議会用語が他にもございましたら、議会事務局までお知らせ願います。

横手市議会公式  
Facebookページ



タイムリーに情報発信中  
ページへの  
お待ちしています。



**編集後記** 桜の満開が待ち遠しい季節となりました。新年度になりご自身の異動、転勤などで新生活が始まった方も多いかと存じます。新しい環境に早く慣れ、笑顔あふれる生活が送れますことをお祈りいたします。現在の広報メンバーはあと2号の発行でゴールです。総力を挙げて頑張ります！（大日向香輝）

### 広報広聴委員会 広報分科会

- |      |       |       |      |
|------|-------|-------|------|
| 分科会長 | 大日向香輝 | 副分科会長 | 林 一輝 |
| 委員   | 井上 忠征 | 加藤 雄太 |      |
|      | 青山 豊  | 福田 誠  |      |